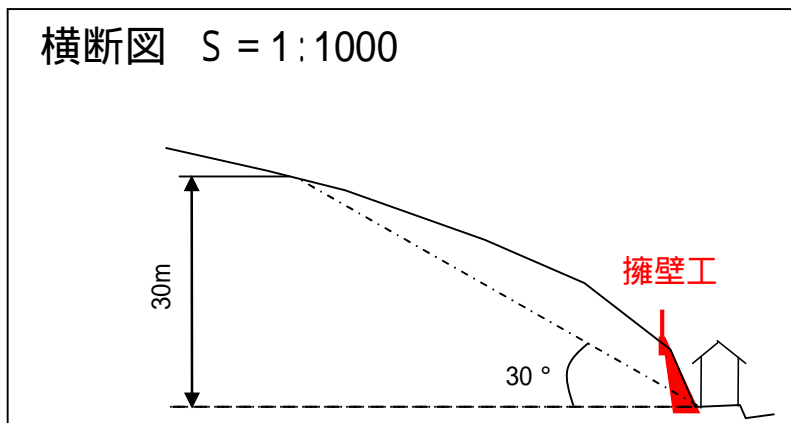
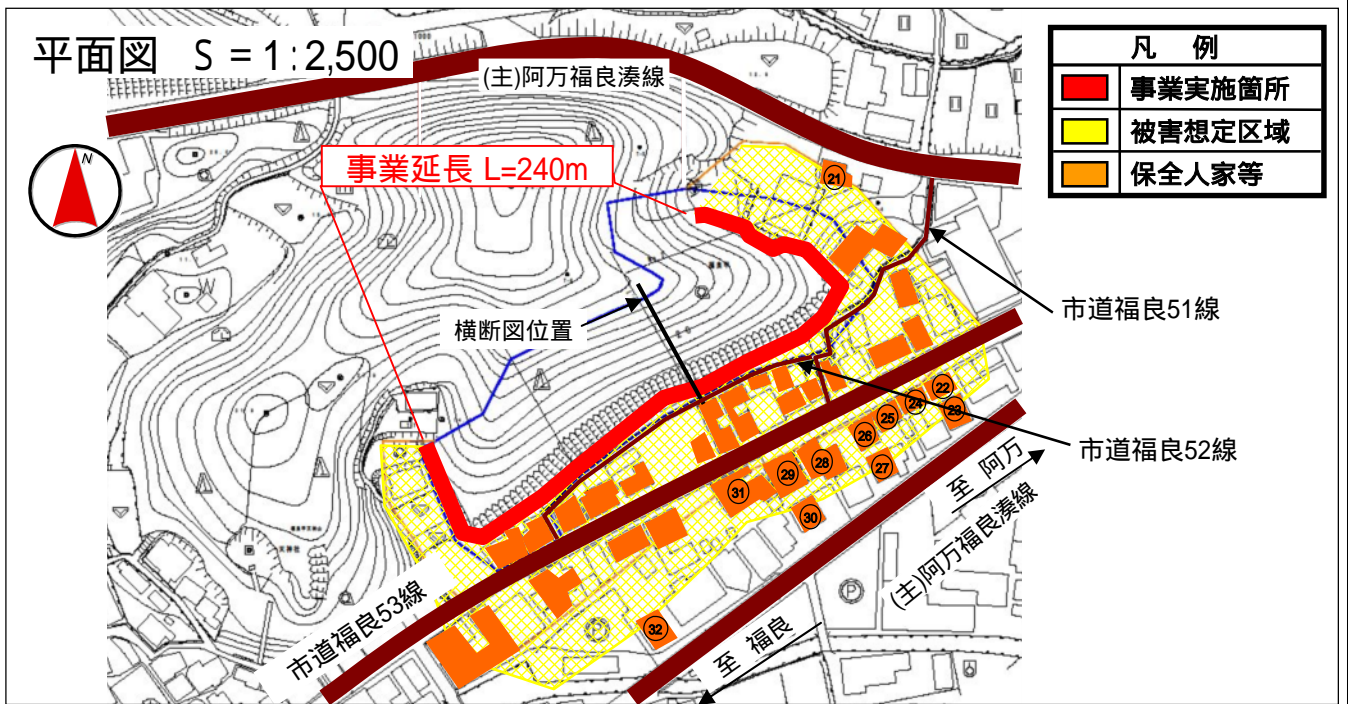
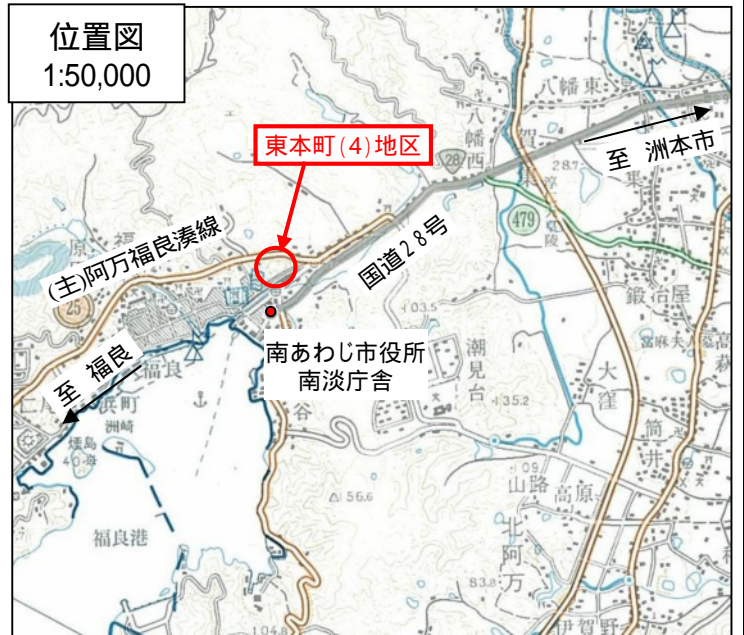


## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本 正利 ( 鵜崎 尚夫 )	内線	4459 (4467)
------	-----	---------------------	-------------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊 対策事業	事業名	事業区間	総事業費	1.3 億円
		急傾斜地崩壊対策 <small>ひがしほんまち</small> 東本町(4)地区	南あわじ市 <small>ふくら</small> 福良	内用地補償費	- 億円
所在地				着工予定 年 度	完成予定 年 度
南あわじ市福良				H23	H25
事業目的			事業内容		
急傾斜地崩壊による災害の防止 当地区は斜面崩壊の危険性が高く、急傾斜地崩壊危険箇所となっている。斜面下部には人家や市道等があるため、防災工事を行い、地域の安全・安心な暮らしを支える。			急傾斜地崩壊対策事業 擁壁工 L = 240m 〔負担割合 国 : 45.0% 県 : 45.0% 地元 : 10.0%〕		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔地区の状況〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>南あわじ市南淡庁舎の北約300mに位置する急傾斜地崩壊危険箇所。</li> <li>斜面は複数の表層崩壊跡があり、斜面下には落石が見られる。</li> <li>斜面の荒廃が進んでおり、崩壊の危険性が非常に高い。</li> </ul>				
〔保全対象等の状況〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>延長240m、幅50mの被害想定区域で、崩壊した場合の影響は大きい。</li> <li>人家32戸、市道(約500m)</li> </ul>				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度に土砂災害警戒区域を指定予定であり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められる。これに加え更にハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。</li> </ul>				
〔事業執行環境〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の同意を得ているため借地に問題はない。</li> <li>工事予定箇所付近には市道があるため、工事用進入路に問題が無いことから円滑な事業執行が可能。</li> </ul>				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>斜面の改変を最小限にとどめ、既存斜面の緑を残し、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。</li> </ul>				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年、小規模崩壊が発生しており、早期着手に対する地元要望も強い。</li> </ul> <p>以上より、H23年度に事業着手し早急な対策が必要である。</p>				



箇所名 東本町(4)地区